

米国の大富豪に見初められた 祇園の芸妓

モルガンお雪



■日本では、1月20日を「玉の輿の日」と呼ぶのをご存知だろうか？その起源は明治時代、ある祇園の芸妓が、当時の米国経済を牽引していた「金融王」ことJ.P.モルガン（ジョン・ピアポント・モルガン）の甥と結婚し、「日本のシンデレラ」「近代史上最高の玉の輿」と日本で大きく報じられたことが由来となっている。今号では、波乱の人生を送ったユキ・モルガンについてお届けする。

放蕩息子「運命の恋」

19〜20世紀初頭にかけて、米国で石油、金融、鉄鋼、鉄道業などで巨大な富を築き、今なお世界経済に大きな影響力を持つ米国の5大財閥、ロックフェラー、メロン、デュポン、モルガン、カーネギー家。その金融財閥モルガン家出身の御曹司と国際結婚したのが、今回紹介する女性、お雪である。2人は一体どのようにして出会ったのだろうか。

モルガン家は、17世紀にウェールズから米国へ移住してきた一族だ。米国で生まれたジョン・ピアポント・モルガン（1837〜1913年）が、父親が英国で起業したビジネスを引き継いで世界最大の銀行家となるまでに事業を成長させ、「モルガン財閥」を築き上げた。

彼の妹サラは一族の男性と結婚、3人の子どもを授かったが、優秀な長男に比べて末っ子は「放蕩息子」に育ってしまった。イェール大学に進学したものの中途退学、伯父の銀行にコネ就職するも金融業に興味を持たず、やがて恋人との婚約も解消。埋められない喪失感を抱えながら世界中を放浪し、古美術品収集を目的に訪れた京都で一目惚れしたのが、祇園で芸妓をしていたお雪だった。ジョージ・デニソン・モルガン30歳、お雪20歳のことである。



得意だった胡弓を弾くお雪。

8億円の花嫁

お雪の本名は加藤ユキといい、1881年に京都寺町の刀剣商の娘として

タイタニック号の乗船を 直前でキャンセルしていた！

モルガン財閥の創始者で「金融王」と呼ばれた銀行家の J.P. モルガン（写真）は、海運企業「国際海運商事（IMM）」の会長でもあり、タイタニック号を造船したホワイトスター・ライン社は、その傘下にあった。



当時最大級の豪華客船として世界中の注目を集めていたタイタニック号の処女航海には、当然ながら J.P. モルガンも乗船する予定で、彼専用に設計されたスイートルームとプロムナード・デッキも用意されていた。

ところが、出航直前に突然のキャンセル。その理由は明かされておらず、体調を崩してフランスの温泉保養地での療養を優先したという説が最も有力視されているが、ライバル社の社長を抹殺するために故意に船を沈めたという陰謀論も根強い。実際に、ニューヨークの不動産投資で財を築いたアスター家の者が命を落としている。

ちなみに、J.P. モルガンはタイタニック号が沈没した翌年の 1913 年、旅行先のローマのホテルで就寝中に死去した。

お雪の結婚の10年ほど前、東京で見初められ、ウィーンの伯爵家に嫁いだ「クーデンホーフ光子」の物語はこちらから ↓



黒い瞳の伯爵夫人
クーデンホーフ光子の決意

忘れた日本語



1938 年に入ると、第二次世界大戦の勃発を前にヨーロッパにも不穏な空気が漂い始め、56 歳になっていたお雪は日本への本帰国を決断する。同年 4 月 24 日に長崎港に到着した際には、なんと記者会見も行われている。ただ、すでに日本語が書けないどころか、ほとんど話す

手にしたのだから、強運の持ち主と言っているのではないだろうか。受け継いだ遺産は、現在の金額に換算すると、数十億〜100 億円と言われている。お雪は日本へ帰国せず、フランスで生活を続けた。やがてフランス陸軍士官で言語学者でもあった年下の男性と恋に落ちたが、再婚はしなかった。再婚すると、モルガン家に遺産を没収される可能性があったからだと言われているが、真実はわからない。ところが不思議なことに、この恋人も15年ほどで心臓麻痺で死去したため、お雪は二ノスに居を移した。



© 岡本英治



お雪の墓がある東福寺・塔頭の同聚院（左）、1938 年にお雪が日本に帰国したときの様子（右）。

お金には困らなかっただろうが、彼女の人生が幸せなものだったのかは、本人しかわからない。3 回忌を迎えた 1965 年には、お雪をイメージした新種の白バラ「ユキサン」がフランスから贈られている。毎年命日の頃になると、加藤家の菩提寺で彼女の墓がある東福寺・塔頭の同聚院では、このユキサンが凧と花を開かせる。

戦局が緊迫すると、モルガン家と縁があり、30 年以上を海外で過ごしていたお雪は、特高警察の監視対象となった。軍政下で莫大な遺産も差し押さえられてしまうなど、日本人でありながらも日本社会に溶け込めず、京都で静かに隠棲する日々を送った。ちなみに、遺産は終戦後に米国政府に掛け合い、無事に相続権を回復している。1963 年 5 月 18 日、急性肺炎により 81 歳で息を引き取ったお雪。71 歳のときにキリスト教に改宗し、「テレジア」と名をあらためた彼女は、使いきれなかった夫の遺産のほとんどを京都にあるカトリック衣笠教会に寄付したという。